



まえてつ通信 2nd

NO. 066-1/2 2018.3.6(火)

◎全国2位でも食っていけない 全力で水産業を支えねば

水産業は過去には本県の「花形産業」であり、**県庁の中で単独で「水産部」があるのは本県と北海道だけ**です。その水産業の現況が以下の通りで本当にこのまま推移すると産業としてなくなるところまできています（離島の就業が多いのも特徴です）。

私は任期最後の年にあたり、特に「県民所得向上と雇用創出」に力をいれて取り組みたいという思いから農水経済委員会（所管は産業労働部・農林部・水産部）に所属し、昨日早速に各部の概要説明を受け、以下のような水産業の現況を再確認しました。

区分	単位	長崎	全国	九州	全国に占める長崎県のシェア	九州に占める長崎県のシェア	長崎県の全国順位
漁業経営体数(H25)	経営体	7,690	94,507	25,709	8.1%	29.9%	2
漁業就業者数(H25)	人	14,310	180,985	48,310	7.9%	29.6%	2
海面漁業・養殖業生産量(H27)	千トン	317	4,619	910	5.6%	34.9%	2
海面漁業・養殖業産出額(H27)	億円	999.8	14,880	3,704	6.7%	27.0%	2

長崎県経済における水産業の地位		第一次産業			第二次 第三次 産業	合計
			農林業	水産業 (漁業)		
経済活動別県内 総生産額(名目) 平成26年度	金額(百万円)	111,936	73,828	38,108	4,152,981	4,264,918
	構成比(%)	2.6	1.7	0.9	97.4	100.0
産業別 就業人口 平成27年	就業人口(人)	47,812	36,645	11,167	576,162	623,974
	構成比(%)	7.7	5.9	1.8	92.3	100.0
うち離島地域	就業人口(人)	9,844	4,550	5,294	44,870	54,714
	構成比(%)	18.0	8.3	9.7	82.0	100.0

一次産業の中では農業が好調で、これまで**所得 600 万の認定農業者の育成を目標**にしていたものを次のステップとして1000万の雇用型経営体を目指すという説明もありました。**林業は500万**を目指す。

一方の水産業はそのような数値目標はできていません。行政も種々施策を打っていますが所得向上につながらず、正式な数字ではありませんが**漁師の方の個人所得は平均 130 万**と耳を疑うような答弁が過去の委員会のなかではあっています。正にこれでは食っていきません。参考に次ページに掲載した**これだけの「日本一」があるにもかかわらず**です。

議員のなかでも昔は水産関係に熟知した「族議員」の先輩方がいらっしゃいましたが今は誰もいなのではと思います。今こそ現場、関係先の切実な声を聞きあらゆる施策を講じて力をあわせて活性化に取り組みねばなりません。昨日の説明を聞き、改めて気持ちを強くしたところです。



まえてつ通信 2nd

NO. 066-2/2 2018.3.6(火)

【生産量全国第1位である主要魚介種（H27数値）】

○海面漁業

種類	量（トン）	全国シェア（%）
アジ類 マアジ・ムロアジ1位	66,833	40.1
イワシ類 ウルメイワシ・カタクチイワシ1位	71,391	10.6
ブリ類	15,651	12.7
タイ類 マダイ・チダイ・キダイ1位	4,262	17.1
イサキ	1,216	29.3
アナゴ類	639	16.6
サザエ類	1,262	20.7
その他のイカ類	6,398	18.1

○海面養殖業

種類	量（トン）	全国シェア（%）
フグ類	2,067	51.5
クロマグロ	4,128	27.8
その他のブリ類(ブリ・カンパチ以外)	1,343	34.1

【長崎県農業産出品目別全国トップ10】（H27）

品目名	農業産出額(億円)	全国順位	品目名	農業産出額(億円)	全国順位
肉用牛	198	8	ブロッコリー	21	8
ばれいしょ	128	2	はくさい	19	4
いちご	111	3	びわ	16	1
みかん	86	6	洋ラン(鉢)	15	7
レタス	49	6	しらぬい(テコボン)	14	4
だいこん	38	8	かほちゃ	9	7
きく	37	5	茶(生葉)	8	10
たまねぎ	32	4	カーネーション	8	6
にんじん	32	5	さやえんどう(未成熟)	7	7
葉たばこ	32	5	しょうが	6	9
アスパラガス	23	4	にがうり	4	5